

世界が憧れる暮らし方



Living My Dream Life

in ふじのくに

女性レスキューとして 新境地を拓いていきたい。

磐田市消防署
特別救助隊

鈴木あゆみさん

1991年岩手県一関市生まれ。静岡県内唯一の特別救助隊（レスキュー）女性隊員。磐田市消防署所属。日々厳しい訓練を続けながら、休日もジムやボルダリングで汗を流すスポーツ女子。趣味は料理。毎日の弁当も自分で作る。



「オレンジの制服と右腕にあるワッペンがレスキューの誇りです」と鈴木さん。地元の小学生から「カッコいい」と声をかけられることも多いという。

鈴木あゆみさんは、県内で唯一、全国にも数人しかいない特別救助隊（レスキュー）の女性隊員だ。レスキューの証であるオレンジ色の制服をまとい、日々の訓練や出動に打ち込む姿勢には、強い責任感とプライドが漂っている。

岩手県出身の鈴木さんは、小学生の時からソフトボールを始め、高校卒業後は磐田市の実業団で競技を続けた。「ソフトボールでは、感謝する気持ちを学びました。精神的にも鍛えられましたね」と鈴木さん。実業団を退団すると一旦帰郷するが、自身を支えてくれた人たちに恩返しをするため、再び磐田へ戻って消防士に。その後、3年間の厳しい訓練期間を経て、昨年4月、念願の特別救助隊に任命された。「任務は男性隊員とほぼ同じです。ただ、救助対象者が女性や子どもの場合、女性隊員の方が適している場面もあります。そんな女性の特性を生かすことで、安心感を与えるような“心の介護力”を養い、レスキューの新境地を切り拓いていきたいと思います」。

自らを「男勝り」と評しながらも、地域への感謝の気持ちも忘れない鈴木さん。人の心の中へスッと入っていける快活な笑顔は、地元の子どもたちにとっても憧れの存在だ。鈴木さんの背中を追いかける夢の連鎖は、もう始まっている。

取材協力：磐田市消防本部 磐田市消防署

ソフトボールで培った体力と運動神経で任務をこなす鈴木さん。仲間の隊員と協力して、重量約30kgの機材を扱うこともある。